

令和6年度 第1回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和6年6月20日（木）午後6時30分～午後8時30分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室

出席者

（委員） 14名

1号委員	池田 義則	土井 礼子	池田 洋	小松 茂
	佐々木慶則	佐藤 良平	後藤 正一	阿部 彩人
	池田 修	加藤 隆子	御船 浩弥	小野 良文
2号委員	池田 満好	信夫 効次		

欠席者 0名

（事務局） 八幡総合支所長 池田 裕子 支所長補佐 齋藤 理博

（傍聴者） 0名

- 議事日程
- 1 開 会
 - 2 事務局自己紹介
 - 3 会議録署名委員の選出
 - 4 会長あいさつ
 - 5 報 告
 - （1）市長報告会の概要について
 - （2）令和6年度当初予算（八幡総合支所関係案）について
 - 6 協 議
 - （1）八幡地域協議会年間計画について
 - 7 その他
 - 8 閉 会

【協議の概略及びその結果】

今回は、令和5年度の市長報告会の概要、八幡地域関連予算に関する報告があり、今年度の地域協議会の年間計画について協議を行った。

今年度の年間計画については、今回を含め年4回の協議会を開き、次回からは委員から出された地域課題について話し合いを行い、4回目に委員から出された地域課題を取りまとめ、年度末に市長に報告することになった。

なお、課題の選定と話し合いの方法は、会長が事務局と相談して副会長とともに委員の意見を集約して検討することにした。

1 開 会

○信夫副会長開会

2 事務局自己紹介

< 人事異動により、支所長補佐に異動があったため、自己紹介を行った。 >

3 会議録署名委員指名

○副会長 委員名簿の順番に指名しているので、5番の佐々木慶則委員にお願いをする。

4 会長あいさつ

○池田会長あいさつ

5 報告

○議長 予定している報告の前に、追加報告として大沢地区の農村RMOについての報告を行う。

< 大沢わぐわぐ未来協議会事務局 阿部彩人氏 説明 >

< 質問、意見なし >

○議長 「(1) 市長報告会概要について」

< 事務局説明 >

< 質問、意見なし >

○議長 「(2) 令和5年度酒田市予算（八幡総合支所関係）について」

< 事務局 説明 >

・公園施設長寿命化整備事業（舞鶴公園遊具大規模改修）について

・八幡体育館改修工事について

○佐々木委員 体育館の改築工事は、説明会の予定はあるのか。

○支所長 いまのところは予定していないようだ。確認してみる。

○佐々木委員 外観上についてイメージ図の提示はあるのか。

○支所長 意見があったことを担当課に伝える。

○議長 体育館の災害時の活用についても検討が必要と考える。

○副会長 デマンドタクシーについて実績が増えているが予算的に足りるのか心配である。

○支所長 補正対応で心配ないと考える。

6 協議

○議長 「(1) 八幡地域協議会年間計画」

< 事務局 説明 >

・次回から、各委員から、地域の課題等について話し合ってもらおう。

・その後は、11月、1月に協議会を開催し、市長報告会へ繋げていく。

○議長 地域の困っていることについて8月に意見を出し合って考えていくのがよいと思う。今まで通りの方法で市長への提言に繋げるか、それとも少し変えていったらいいのか皆さんの意見を伺う。

このような日程で協議会を行っていくが、今回は皆さんが思っていることを一言ずつお願いする。

地域の困っていること、皆さんからの意見を集約させてもらいたい。

○御船委員 人口減少、担い手不足であるが、農業機械を購入したとしても、子でなくとも継承してくれる若い人もいないことに心配をしている。

○加藤委員 新たな地域課題よりこれまで挙げた課題を掘り下げて、できそうなものに取り組む。マッチングアプリを活用する。かつて焼き肉やそばを提供していた八森を活用する。おいしいものがあれば、どこまでも行くのが今の若い人。

小中高生が何をしたいか、都会に出ればよいというものではないと考える。若い人の意見を聞くのがよいと思う。

○池田修委員 鳥海山やジオパークの問題について、予算がないから山居倉庫に拠点をつくることになっている。市内に予算が持っていかれている。

今年初めにあった地震だが津波を逃れるため酒田市内から多くの人八幡に来た。避難先が分からず「たわわ」や「ゆりんこ」に来た。日向コミセンにある防災無線では何度も津波が来るので高台に避難するよう呼び掛けていた。避難場所に食料や毛布が不足しているということがないよう、もう一度避難のことについてまとめるべきと考える。避難場所があつてないケースもあると考える。

○阿部委員 これまでではお金がかかる要望を提言してきた歴史がある。しかし形になっていない。

お金かけなくてもできることに取り組むのがよいのではないかと考えている。

小中高を含めて世代を超えて話し合う場がない。場も運動会くらいしかない。運動会すら集まるのが億劫だという話も伺っている。

話して楽しくなるような、八幡の明るい未来をどうやって作るかという話をする場を作りたい。それをどうやって作るかということをこの会で相談したい。

○議長 若いお父さんお母さん世代をどうやって引っ張り込むかであろう。

○後藤委員 定年延長と人口減少でなおさら若い人が集まらなくなっている。検討していかなければならない。

○池田義則委員 人口減少が一番の問題。保育園、小学校の存続が危うい。市の総合計画にどうして傾向と対策が出てこないのか、増やすためにはどうすればいいのかという対策が大事。仕方ない、あきらめると感じる。

○土井委員 最近テレビの「鶴瓶の家族に乾杯」「どすこいやまがた」で八幡が紹介された。波に乗っていると思っている。八森のグランドゴルフの後、お茶会などできるように整備すればいいと思う。

○池田洋委員 自分は酒田生まれでないが、ここは田園風景が美しいと考えている。これはこれまでの歴史のおかげである。

ラーメン日本一になったが、これはPRの効果が高いと思う。

○議長 歴史、自然の財産を活用する方法を皆で考えようということ。

○小松委員 人口減少が問題。エプソンの工場増設など良い話題もある。

- 佐々木委員 八幡を音楽の街にしたい。子供を巻き込んだ音楽の街にしたい。50年前、中学校にブラスバンドがなかった。父兄が寄付し、町もお金を出し、25名の部員が集まった。自分はその第1期生である。その時、役場からパレードをした。
- 佐藤委員 本協議会だが、困りごとを話しあって市に打診し解消してもらおう場なのか、儲かる仕組みを考える場なのかが分からない。八幡にはいいところいっぱいある。与えられた予算に対して八幡で何するかを話し合う場なのか、八幡でやりたいことをバックアップしてもらおうのか、それを今後話し合いたい。
- 副会長 若い人たちを取り込んだ活動をコミセンはしていない。しかし酒田市はコミセンに多くを求めている。これではうまくいかない。若い人を取り込むことを考えるべき。
- 議長 皆様方のご意見いただいたが、事務局と相談しながら副会長とともに皆さんの意見を集約しながらやっていこうと思う。よろしいか（会場より「はい」の声）。

7 その他

< 意見なし >

8 閉会

○信夫副会長閉会